

令和2年3月13日

道路局高速道路課

## 高速道路からの一時退出を可能とする「賢い料金」の実施について

我が国の高速道路においては、休憩施設同士の間隔が概ね25km以上離れている空白区間が約100区間存在しています。この空白区間を半減することを目指し、現在全国23箇所の道の駅を対象に、高速道路からの一時退出を可能とする「賢い料金」を実施しています。今回、これまでの実験における「時間が短いため十分な休憩ができない」などのご意見を踏まえ、現在実験中の全国23箇所の道の駅を対象に、令和2年3月27日(金)0時より一時退出可能時間を現行の1時間から3時間へ引上げ、引き続き検証を進めます。

### <実験概要>

1. 内 容 : ETC2.0搭載車を対象に、高速道路を降りて道の駅に立ち寄り後、3時間以内に再進入した場合※1には、降りずに利用した料金のままとする  
(ターミナルチャージ※2の再徴収をせず、長距離通減※3等も継続)

※1 順方向に向かう場合のみ

※2 利用1回当たりの料金(高速自動車国道のみ)

※3 一定距離以上を連続して利用した場合の料金割引措置

2. 日 時 : 令和2年3月27日(金)0時より一時退出時間の引上げを開始※4

※4 実験対象ICを0時以降に流出した車両が対象

3. 実施箇所: 全国23箇所の道の駅(別添資料の通り)

・参考資料: 現在実験中の道の駅における利用状況

(参考) ETC2.0については、(一財)ITSサービス高度化機構「ETC総合情報ポータルサイト」  
をご参照ください。(http://www.go-etc.jp/etc2/index.html)

### 問い合わせ先:

○一時退出全般に関すること

国土交通省 道路局高速道路課 企画専門官 柵津 知広(内線:38362)

(代表) TEL 03-5253-8111 (課直通) TEL 03-5253-8500、FAX 03-5253-1619

○ETC2.0に関すること

国土交通省 道路局道路交通管理課 ITS推進室

企画専門官 野津 隆太(内線:37453)

課長補佐 上原 光太郎(内線:37462)

(代表) TEL 03-5253-8111 (課直通) TEL 03-5253-8484、FAX 03-5253-1617

# 一時退出 対象道の駅について

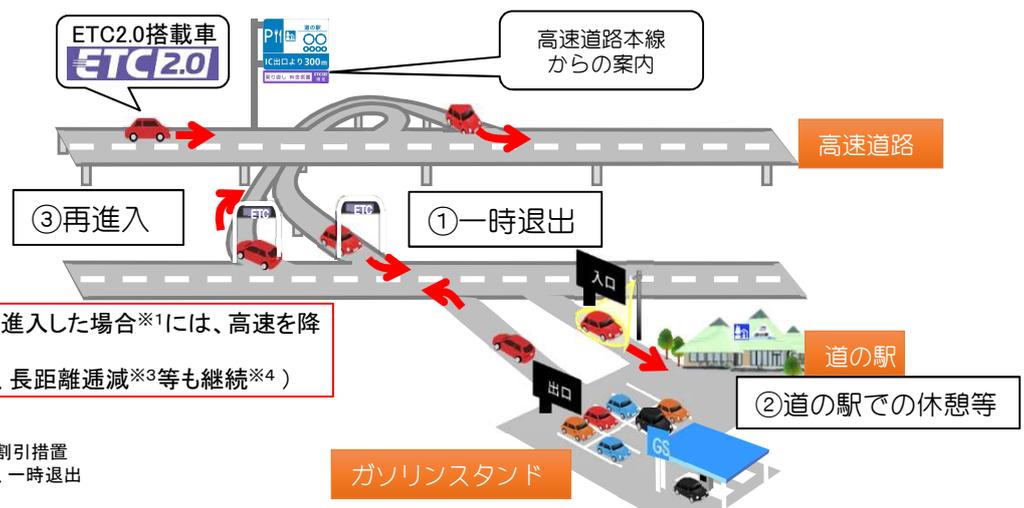
別添資料

- ETC2.0を対象として、高速道路外の休憩施設等への一時退出を可能とする実験を、前後の休憩施設間が概ね25km以上、かつIC近傍の道の駅23箇所を実施中
- これまでの実験における「時間が短いため十分な休憩ができない」などのご意見を踏まえ、令和2年3月27日(金)0時より、一時退出可能時間を現行の1時間から3時間への引上げ

[参考]現在実験中の道の駅(23箇所)

駅名	道の駅所在地	最寄り道路・IC名
おりつめ	岩手県九戸郡九戸村	E4A 八戸線・九戸IC
むらた村田	宮城県柴田郡村田町	E4 東北道・村田IC
いなわしろ猪苗代	福島県耶麻郡猪苗代町	E49 磐越道・猪苗代磐梯高原IC
ごか	茨城県猿島郡五霞町	C4 圏央道・五霞IC
たまむらじゆく玉村宿	群馬県佐波郡玉村町	E17 関越道・高崎玉村スマートIC
きさらづ木更津うまくだの里	千葉県木更津市	C4 圏央道・木更津東IC
ほたしょうがっこう保田小学校	千葉県安房郡鋸南町	E14 富津館山道・鋸南保田IC
しらね	山梨県南アルプス市	E52 中部横断道・白根IC
おやしらず親不知ピアパーク	新潟県糸魚川市	E8 北陸道・親不知IC
もつくる新城	愛知県新城市	E1A 新東名・新城IC
わかさ若狭おばま	福井県小浜市	E27 舞鶴若狭道・小浜IC
アグリの郷栗東	滋賀県栗東市	E1 名神高速・栗東IC
たんぼ丹波おばあちゃんの里	兵庫県丹波市	E27 舞鶴若狭道・春日IC
おくだいせん奥大山	鳥取県日野郡江府町	E73 米子道・江府IC
まいちよだ舞ロードIC千代田	広島県山県郡北広島町	E2A 中国道・千代田IC
らいむ来夢とごうち	広島県山県郡安芸太田町	E2A 中国道・戸河内IC
むいかいち温泉	島根県鹿足郡吉賀町	E2A 中国道・六日市IC
ソレーネ周南	山口県周南市	E2 山陽道・徳山西IC
きりもり霧の森	愛媛県四国中央市	E32 高知道・新宮IC
みまの里	徳島県美馬市	E32 徳島道・美馬IC
ひとよし人吉	熊本県人吉市	E3 九州道・人吉球磨スマートIC
そのぎしろう彼杵の荘	長崎県東彼杵郡東彼杵町	E34 長崎道・東そのぎIC
えびの	宮崎県えびの市	E3 九州道・えびのIC

## ＜一時退出イメージ＞



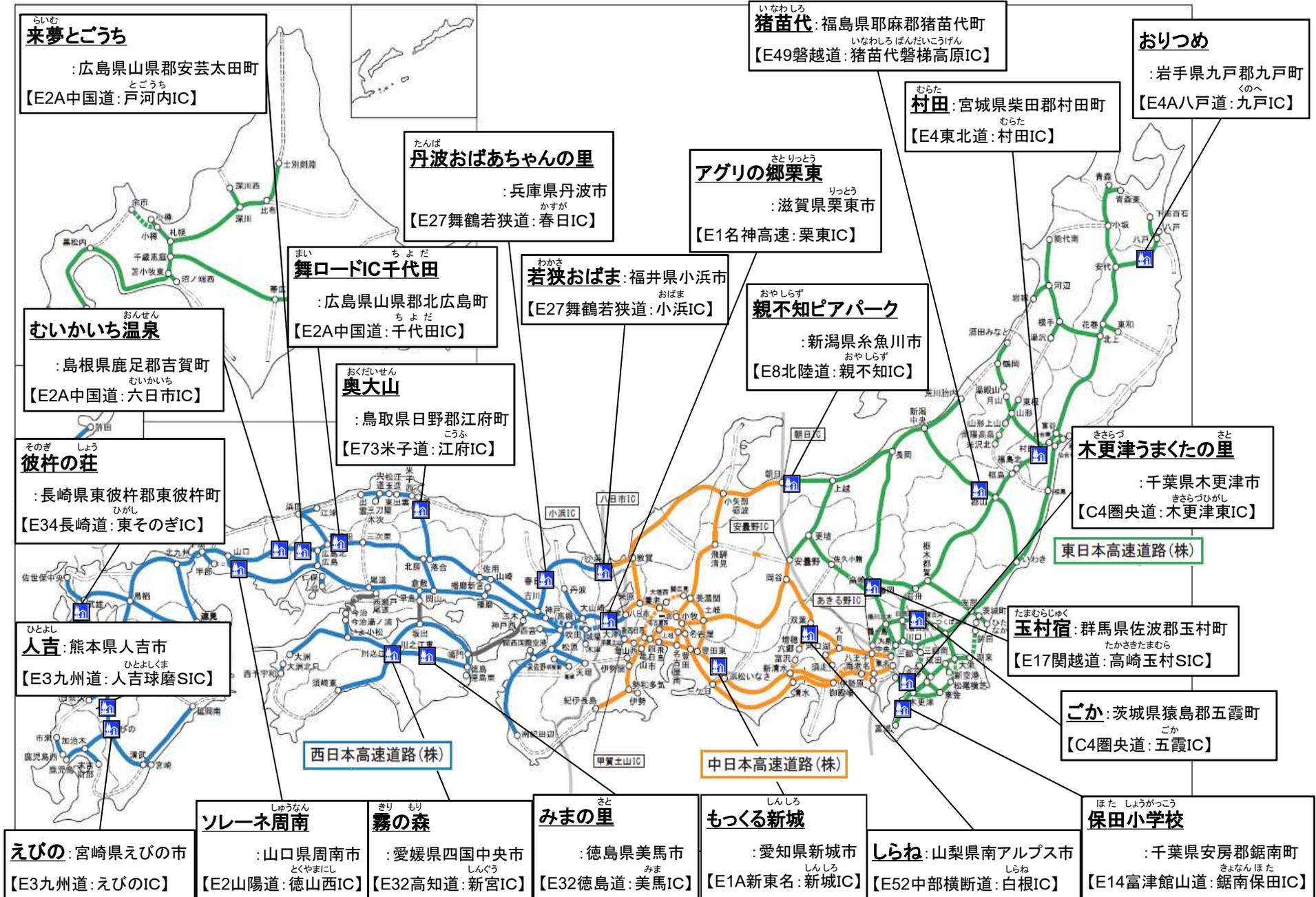
一時退出した場合でも、3時間以内に再進入した場合※1には、高速を降りずに利用した料金のまま  
(ターミナルチャージ※2の再徴収をせず、長距離通減※3等も継続※4)

- ※1 順方向に向かう場合のみ
- ※2 利用1回当たりの料金
- ※3 一定距離以上を連続して利用した場合の料金割引措置
- ※4 一部のICでは、従前より、車種等の条件により、一時退出をしても料金が変わらない場合があります

# 一時退出実験対象道の駅箇所

□ : 現在実験中の道の駅

別添資料



# 利用状況～利用者へのアンケート結果について～

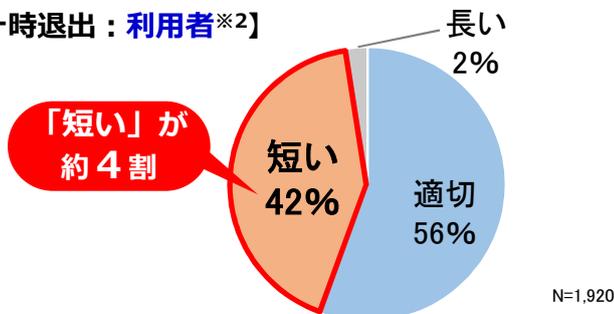
参考資料

- 一時退出可能時間について、利用者の約4割、非利用者の約6割が「短い」と回答
- 「短い」との回答者の意見として、「十分な休憩ができない」、「1時間では食事と買い物をするには短すぎる」などがある
- 適切な一時退出可能時間は、利用者・非利用者とも約8割以上が「3時間以内」と回答

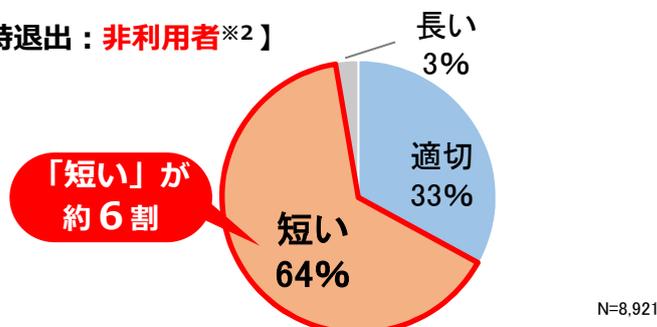
## ■ 一時退出可能時間の評価※1

<現行の一時退出可能時間(=1時間)の評価>

【一時退出：利用者※2】



【一時退出：非利用者※2】



【利用者の声】  
(「短い」との回答者)



- ・一時退出可能時間が短いため十分な休憩ができない
- ・1時間では休憩のみで十分な買い物も出来ずに高速道路に戻る事となる
- ・食事時間帯などは施設が混雑していて、1時間では食事ができない 等

【非利用者の声】  
(「短い」との回答者)

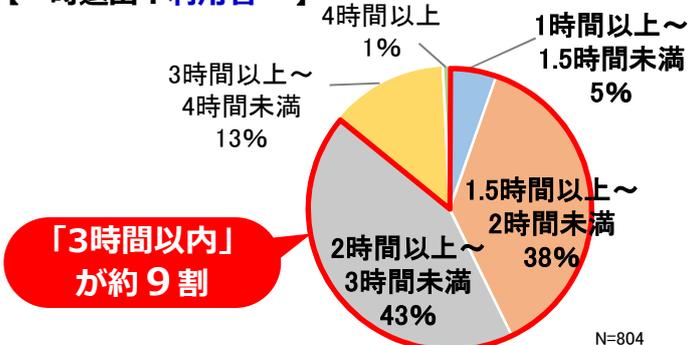


- ・移動時間込みで1時間以内は難しい、もっと時間が増えたら利用する
- ・食事と買い物をしようとする、1時間では短すぎる
- ・小さい子供がいるので、授乳などで時間がかかるので時間を拡大してほしい 等

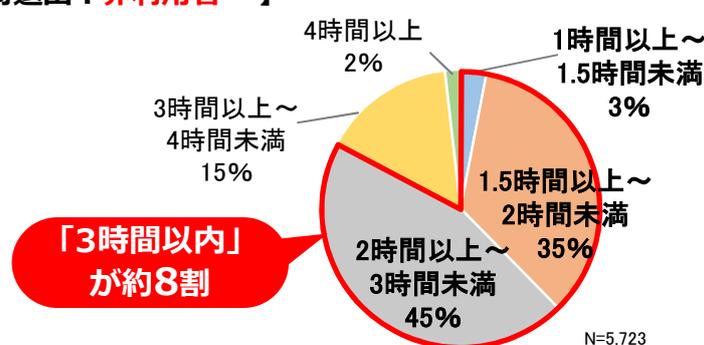
<適切な一時退出可能時間>

(一時退出可能時間が「短い」と回答した者のみ)

【一時退出：利用者※2】



【一時退出：非利用者※2】

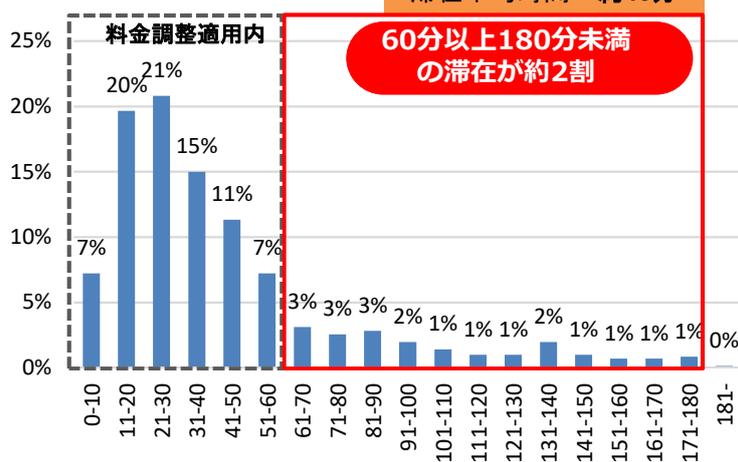


※1WEBアンケート調査結果を集計

※2「利用者」とは一時退出実験を利用したことがある方、「非利用者」とは一時退出実験を利用していない方

## ■ 道の駅滞在時間※3※4

滞在平均時間…約46分



※3：(高速道路からの流出時刻) - (高速道路への再流入時刻)

※4：平日：R1.11.13(水)、休日：R1.11.17(日)の利用台数から割合を算出

## ■ (参考) 実験中の道の駅の施設例

